

立命館大学文学部校友会

第8回 総会

議案

- I. 2019年度・2020年度活動報告(P.1)
- II. 2019年度・2020年度決算報告および監査報告(P.5)
- III. 2021年度活動方針および予算案(P.7)
- IV. 文学部校友会員証のデジタル化について(P.9)
- V. 2021年度・2022年度校友会役員を選出について(P.10)

資料:「立命館大学文学部校友会規約」

「立命館大学文学部校友会事務取扱内規」

オンライン表決期間：2021年9月13日～10月29日

1. 2019年度・2020年度 活動報告

●文学部校友会の活動

1. 文学部校友会報「LETTERS」の編集・発行
2. 秋の総会・イベントの企画・運営
3. 文学部校友会HP およびFacebook の管理運営
4. 卒業生への卒業記念品兼入会記念品の贈呈
5. クラス・ゼミ・専攻同窓会活動の支援
6. 在学生支援（ゼミナール大会校友会会長賞・コロナ禍支援）
7. 若手校友組織の支援
8. 校友会員証の発行

●2019年度の主な活動

<総会・懇親会>

(1)日時・場所

日時：2019年10月5日（土）16時30分～19時45分

場所：ANAクラウンプラザホテル京都

(2)企画概要

13時30分～14時45分 文学部校友会常任幹事会

15時00分～16時00分 文学部校友会幹事会

16時30分～17時00分 文学部校友会総会

17時15分～19時45分 懇親会

ミニ講演 山村 純也氏「いま、京都観光で何が起きているか」
抽選会

(3)参加者数

157名（無料招待とした2016～2018年度卒業生は11名、卒業後10年の卒業生は0名、卒業後50年の卒業生は3名）。若手層の参加を促すために、無料招待者枠を卒業後1年までから卒業後3年までに枠を広げた結果、2018年度懇親会で無料招待だった卒業後1年の方は4名だったが、2019年度懇親会では卒業後3年以内の方が11名参加し、若手層の参加拡大に寄与することができた。

(4)総会について

懇親会前に文学部校友会第7回総会を開催した。2017年度・2018年度活動報告、決算報告、監査報告の後、2017年度、2018年度決算について承認いただいた。その後、2019年度活動方針、2019年度予算案および校友会役員体制について説明提案し、承認いただいた。最後に文学部校友会費過徴収および新規入会について、文学部校友会事務取扱内規の改定について報告し、いずれも了承いただき、終了した。

(5)運営について

運営については、例年課題となっていたアンケートの回収率を改善するための試みとして、アンケート用紙の提出と引き換えに、立命館グッズをプレゼントすることとした。その結果、回収数は出席者（事務局除く）149名中111枚、参加者に対する回答率も71%で、昨年の回収率35%を大幅に上回ることができた。

アンケート結果からは、講演会や抽選会、世代を超えた交流が行えた点について、満足度が伺える感想が多数寄せられた。



●2020年度の主な活動

<懇親会>

(1)日時・場所

日時：2020年6月27日(土)13:00 受付開始

場所：衣笠キャンパス

(2)開催について

3月発送の「りつめい」にチラシを同封し、新 清心館お披露目企画として、図書館ツアー、ハーブバスソルト作りなどミニ企画を用意、例年のハガキによる参加申込に加え、2020年5月29日を申込締切日としてHPからのWeb申込も実施した結果、各企画に各人数の申し込みがあった(2020年4月9日時点)。

図書館ツアー	ハーブバスソルト	講演会	懇親会 (諒友館BF)
52名(50名)	27名(30名)	78名(200名)	85名(200名)

()内は定員

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、やむなく4月9日にHPにて開催中止を発表し、Web申込フォームも閉鎖した。

<在学生への支援(コロナ禍支援)>

コロナ禍支援として、2020年度秋学期開始時点で在籍する全ての文学部生・文学研究科生に対し、5,000円の図書カードネットギフトを配布した。※支援に関するアンケート結果については次ページ参照参照

文学部生 対象
文学研究科生 対象

文学部校友会から新型コロナウイルス禍に対する学びの支援を実施します

◆支援の概要◆

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、学習や生活において様々な影響が生じているかと思えます。文学部校友会ではそのような状況を受けまして、みなさんの学習や研究支援の一環として「**図書カードネットギフト5,000円分**」をお贈りするにしました。

秋学期の授業に向けた教科書購入や日々の学習のために、ぜひ役立てていただければと思います。

対象 : 立命館大学文学部生および文学研究科生 (2020年9月25日時点)

支援内容 : 図書カードネットギフト 5,000円分

配信方法 : 10月2日(金)に manaba+R の個人宛お知らせに個別の URL をお送りします。

利用方法 : manaba+R の個人宛お知らせに記載の URL から QR コードを表示し、店頭で提示してください (QR コードをプリントアウトした用紙の提示でも可)。
立命館大学ブックセンターふらっと、及び一部のオンライン書店でも利用可能です。
※受取方法・利用方法の詳細は↓

【立命館大学文学部校友会とは】
文学部卒業生によって構成される、専攻の枠をこえた学部校友会です。「会員相互、会員と在学生、および学部・研究科構成員相互の親睦・交流を図るとともに、立命館大学校友会、専攻同窓会組織の活動と連携しつつ、母校ならびに文学部・文学研究科の発展に寄与することを目的」として、2007年度に設立されました。

文学部校友会 HP → [立命館大学 文学部校友会](#)

[図書カードネットギフトご利用方法](#)

【お問い合わせ先】
立命館大学文学部校友会事務局 (文学部事務室内)

「文学部校友会からのコロナ禍支援（図書カード5,000円分）に関するアンケート」
回答結果について

コロナ禍支援として2020年10月に文学部校友会から文学部・文学研究科の在籍者に対して5,000円の図書カードネットギフトを支給した。以下、学生へのアンケート結果を記載する。

1. アンケート実施内容

タイトル	新型コロナウイルス禍に対する学びの支援に関するアンケート
実施期間	2021年6月2日(水)~7月4日(日)
対象者	2020年10月2日配布のコロナ禍支援対象者のうち、2021年6月時点での在籍者
対象者数	3,265名
回答方法	Webフォーム（Microsoft Formsを使用、manaba+R個人宛お知らせにて通知）
回答数	749件

2. アンケート結果

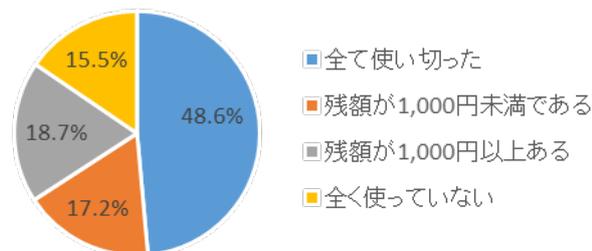
Q1.2020年10月2日にmanaba+Rの個人宛お知らせで配布された、文学部校友会からの「新型コロナウイルス禍に対する学びの支援」（図書カードネットギフト5,000円分）を知っていますか

回答	票数	割合
知っている	674	90.0%
知らなかった	75	10.0%
	749	



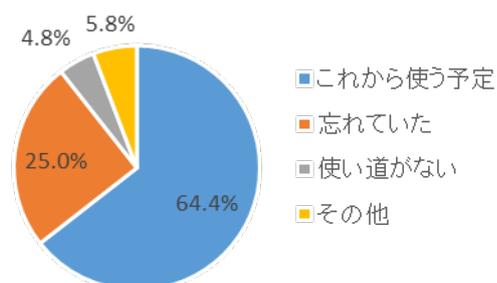
Q2.<Q1で「知っている」と答えた方へ>図書カードネットギフト（5,000円分）を使用しましたか

回答	票数	割合
全て使い切った	327	48.6%
残額が1,000円未満である	116	17.2%
残額が1,000円以上ある	126	18.7%
全く使っていない	104	15.5%
	673	



Q3.<Q2で「全く使っていない」と答えた方へ>支援（図書カードネットギフト5,000円分）を使用していない理由を教えてください

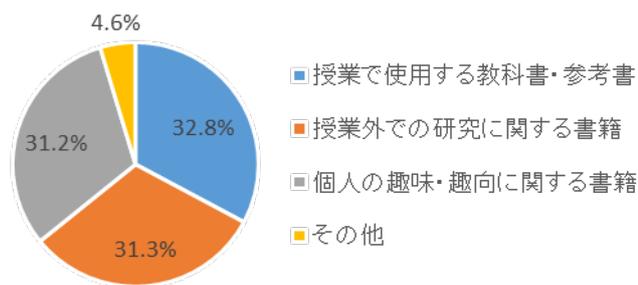
回答	票数	割合
これから使う予定	67	64.4%
忘れていた	26	25.0%
使い道がない	5	4.8%
その他	6	5.8%
	104	



Q4.<Q2で「全て使い切った」「残額が1,000円未満である」「残額が1,000円以上ある」、またはQ3で「これから使う予定」「忘れていた」

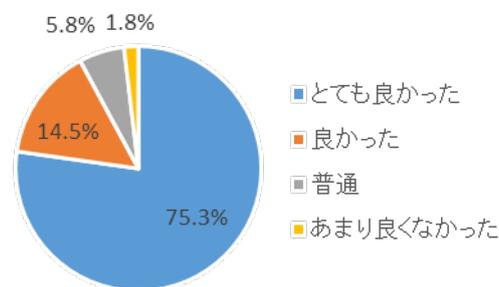
と答えた方へ>図書カードネットギフト(5,000円分)の用途(予定を含む)を教えてください

回答	票数	割合
授業で使用する教科書・参考書	219	32.8%
授業外での研究に関する書籍	209	31.3%
個人の趣味・趣向に関する書籍	208	31.2%
その他	31	4.6%
	667	



Q5.<Q1で「知っている」と答えた方へ>今回の支援内容(図書カードネットギフト5,000円分)はあなたにとって使い勝手の良いものでしたか

回答	票数	割合
とても良かった	492	75.3%
良かった	95	14.5%
普通	38	5.8%
あまり良くなかった	12	1.8%
悪かった	16	2.5%
	653	



II. 2019年度・2020年度 決算報告および監査報告

2019年度 立命館大学文学部校友会 決算書

(会計期間： 2019年6月1日～2020年5月31日)

(単位：円)

科目		2019年度予算額	2019年度決算額	備考	
収入の部	前年度繰越金	59,909,206	58,441,592	※予算作成時から会計締日の間に収支が発生し、予算額と決算額の前年度繰越金額に誤差が生じた。	
	当年度収入	会費（卒業生・教職員）	100,000	120,000	卒業生10名、教職員2名
		会費（在校生）	10,370,000	9,810,000	2019年度卒業生分
		懇親会参加費等	360,000	200,000	懇親会参加費
		雑収入	10,000	14,241	預金利子、立替金返金 等
		小計	10,840,000	10,144,241	
合計	70,749,206	68,585,833	(前年度繰越金+当年度収入小計)		
支出の部	会報発行	1,000,000	928,199	会報印刷費・送料・原稿依頼謝礼	
	印刷費	400,000	440,550	案内チラシ等印刷費	
	入会記念品	2,800,000	1,901,394	卒業記念品、過年度卒業生等入会記念品、会員証作成費	
	ホームページ運営	2,000,000	1,985,500	ホームページ運営費	
	学生・大学院生支援	150,000	10,000	文学部ゼミナール大会校友会会長賞	
	企画・懇親会関連	4,000,000	2,664,094	2019年度総会・懇親会関連	
	運営関係	1,800,000	2,124,935	人件費・通信費・会議渉外費等	
	専攻・ゼミ同窓会活動補助金	1,000,000	520,746		
	文学部創設100周年記念事業積立金	1,500,000	1,500,000		
	終身会費過徴収関連	2,170,000	167,000	除籍・退学者等終身会費過徴収返金	
	予備費	500,000	0		
	小計	17,320,000	12,242,418		
差引（次年度繰越金）	53,429,206	56,343,415	(収入の部合計-支出小計)		
合計	70,749,206	68,585,833	(支出小計+次年度繰越金)		

文学部校友会資産残高（2020年5月31日現在）

繰越金

京都銀行(合計)	56,009,545
ゆうちょ銀行	310,110
現金	23,760

積立金

文学部創設100周年記念事業	3,000,000
----------------	-----------

総資産（繰越金+積立金）

59,343,415

2019年度決算に関し、帳票、証憑書類その他を精査しましたところ、すべて適正であることを認めます。

2020年 7月 30日

会計監査委員

長谷川 敦子 

中山 博文 

2020年度 立命館大学文学部校友会 決算書

(会計期間： 2020年6月1日～2021年5月31日)

(単位：円)

		2020年度予算額	2020年度決算額	備考
前年度までの積立金		3,000,000	3,000,000	
前年度繰越金		56,343,415	56,343,415	前年度までの積立金除く
当年度収入	会費（卒業生・教職員）	100,000	30,000	卒業生3名
	会費（在校生）	9,910,000	9,490,000	2020年度卒業生945名分+2019年度卒業生払出請求漏れ4名分
	懇親会参加費等	0	0	懇親会参加費 等
	雑収入	10,000	41,464	預金利子、寄付金、立替金返金 等
	収入合計	10,020,000	9,561,464	
当年度支出	会報発行	1,000,000	863,783	会報印刷費・送料・原稿依頼謝礼
	印刷費	200,000	0	案内チラシ等印刷費
	入会記念品等	2,800,000	1,930,643	卒業記念品、過年度卒業生等入会記念品、会員証作成費
	ホームページ運営	400,000	17,600	ホームページ運営費
	学生・大学院生支援	21,225,000	21,015,000	文学部ゼミナール大会校友会会長賞、コロナ禍支援
	企画・懇親会関連	400,000	0	2020年度総会・懇親会・専攻代表懇親会関連
	運営関係	2,300,000	2,227,095	人件費・通信費・会議渉外費等
	専攻・ゼミ同窓会活動補助金	1,000,000	131,536	専攻同窓会×2件
	文学部創設100周年記念事業積立金	1,500,000	1,500,000	
	終身会費返還関連	1,900,000	780,250	除籍・退学者等終身会費返金
	予備費	500,000	0	
	支出合計	33,225,000	28,465,907	
差引（次年度繰越金）		33,138,415	37,438,972	前年度繰越金+収入合計-支出合計

文学部校友会資産残高（2021年5月31日現在）

繰越金

京都銀行	37,116,320
ゆうちょ銀行	322,652
現金	0

積立金

文学部創立100周年記念事業	4,500,000
----------------	-----------

総資産（繰越金+積立金）

	41,938,972
--	------------

2020年度決算に関し、帳票、証憑書類その他を精査しましたところ、すべて適正であることを認めます。

2021年 8月 26日

会計監査委員

長谷川 敦子



中山 博文



Ⅲ. 2021年度活動方針および予算案について

●2021年度の活動方針

<2021年度活動目標>

デジタル技術等の活用により「ウィズコロナ・アフターコロナ」の時代に適合した校友会活動の在り方を検討するとともに、年齢や居住地の壁を越えて、校友が幅広く参加できる校友会企画を目指す。

1. 2021年度文学部校友会企画

オンライン講演会をメインに、改修工事が完了した清心館及び啓明館のお披露目のための企画（2020年度開催中止となった企画）として開催を予定。なお、新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、飲食を伴う企画、狭い空間での学生との交流がある企画は開催しないこととする。

(1)日時・場所

日時：2021年12月5日(日) 13:00～17:00（予定）

場所：衣笠キャンパス

(2)企画概要

<清心館・啓明館内覧（キャンパスツアー）>

申込：不要、自由参加

<図書館見学ツアー>

申込：要、先着30名

※図書館司書課程履修生及び「りっとけん（立命館大学図書館研究会）」の学生による見学ツアー

<講演会・パネルディスカッション（Zoomウェビナー同時配信）>

申込：要

概要：現地参加 先着100名、Web参加 先着500名

講演者：第1部 藤健一先生（心理）「清心館物語」

第2部 矢野桂司先生（地理）「歴史都市時空間散歩：デジタル人文学の視点から」

2. 文学部校友会報（第13号）の作成・発行

文学部校友会報(全8ページ)を作成し、大学校友会に入会の文学部・文学研究科卒業生には校友会報「りつめい」夏号に同封して送付、文学部校友会のみに入会の方(約280名)は文学部から送付する。ただし、「りつめい」の発行スケジュールが今年度より変更となり、夏号の発行は6月から8月となったため、文学部校友会報もそれに準ずる。

3. 文学部校友会員証のデジタル化

2022年3月よりデジタル会員証を導入する（詳細はP.16参照）

4. 2021年度その他の校友会活動

- (1)卒業生への卒業記念品兼入会記念品の贈呈
- (2)文学部校友会HPおよびFacebookの充実・整備
- (3)クラス・ゼミ・専攻同窓会への支援
- (4)在学生の支援（ゼミナール大会校友会長賞）
- (5)若手校友の組織化支援
- (6)卒業生専攻代表との交流会
- (7)文学部校友会幹事会の開催
- (8)翌年度文学部校友会イベントの企画

6. 2021年度文学部校友会予算案について

2021年度立命館大学文学部校友会予算書(案)

(会計期間: 2021年6月1日~2022年5月31日)

(単位:円)

科目		2020年度予算	2021年度予算	備考	
収入の部	前年度繰越金	56,343,415	37,438,972	文学部創立100周年記念事業積立金は除く	
	当年度収入	会費(卒業生・教職員)	100,000	100,000	10名からの申込みを想定
		会費(在校生)	9,910,000	8,960,000	文学部校友会終身会費2021年度(4回生896名)
		懇親会等の参加費	0	0	2021年度懇親会なし、講演会企画のみのため参加費徴収なし
		雑収入	10,000	10,000	預金利子
		小計	10,020,000	9,070,000	
	合計	66,363,415	46,508,972		
支出の部	当年度支出	会報発行	1,000,000	1,000,000	印刷費・送料・原稿依頼謝礼
		印刷費	200,000	100,000	封筒印刷費など
		入会記念品	2,800,000	2,000,000	卒業(入会)記念品
		ホームページ運営	400,000	200,000	運営費
		学生・大学院生支援	21,225,000	150,000	文学部ゼミナール大会、校友会長賞等
		企画・懇親会関連	400,000	980,000	2021年度講演会企画 2021年度専攻代表と若手校友の交流会
		運営関係	2,300,000	2,000,000	人件費、通信費、会議渉外費、振込手数料等
		専攻・ゼミ同窓会活動補助金	1,000,000	500,000	
		文学部創設100周年記念事業積立金	1,500,000	1,500,000	
		終身会費返還関連	1,900,000	2,500,000	未返還者222名
		予備費	500,000	500,000	
		小計	33,225,000	11,430,000	
差引(次年度繰越金)		33,138,415	35,078,972	(収入の部合計—支出の部小計)	
合計		66,363,415	46,508,972		

IV. 文学部校友会会員証のデジタル化について

文学部校友会への新規入会者に配布している文学部校友会会員証（紙媒体）について、2022年3月（2021年度秋学期卒業生）からデジタル会員証を導入する。

1. デジタル会員証の利点について

- (1) 将来、イベントの受付時にデジタル会員証にバーコードを表示させ、バーコードを読み取ることで会員の情報を確認する等、今後の会員証の利用範囲が広がる。
- (2) 毎年、年度末に発生していた会員証製作費（100,000円前後）が不要になる。デジタル会員証については導入年度のみ50,000円の初期費用が必要であるが、以後のランニングコストは不要となる。

2. デジタル化の方法

- (1) 2020年度に導入したWeb名簿管理システムの、パッケージ機能に存在するシステムを利用して、デジタル会員証を作成する。
- (2) デジタル会員証画面のログインIDは会員番号（学生証番号）、PWは生年月日（8桁）とする。
- (3) 広報、ID/PWの通知方法について
 - (A) 入会済みの方
現在の紙媒体の会員証も有効としたうえで、デジタル会員証については会報、HPで広報する。
 - (B) 新入会（既卒生）の方
入会申込時に通知。
 - (C) 新入会（新卒生）の方
卒業式で配布される資料の中にデジタル会員証の紹介、及びID/PWは会員番号（学生証番号）/生年月日であることを記載した資料を封入する。なお、ログイン可能日は校友会費の納入確認完了後の4月以降とし、会費納入済＝会員の方のみログイン可とする。
- ④ ID（会員番号）を忘れた場合の通知方法について
立命館大学校友会の対応方針に準ずる。

3. 画面イメージ



V. 2021年度・2022年度の校友会役員の選出について

- 会長、副会長、常任幹事、会計監査の選出について、
本幹事会において下記の通り役員を選出する。

役職	氏名	専攻・専修	新・現区分
会長	池坊 専好	日本史学（研究科）	現
副会長	河原 典史	地理学	現
副会長	志磨 慶子	哲学	現
常任幹事	高儀 智和	日本文学	現
常任幹事	藤田 隆馬	英米文学	新
常任幹事	南 健一	東洋史学	現
名誉会長	中小路 宗隆	哲学	現
会計監査	長谷川 敦子	日本文学	現
会計監査	中山 博文	西洋史学	現
事務幹事	玉井 弘美	文学部事務長	現

- 幹事の選出について

下記の方々の退任を踏まえ、本幹事会において下記の通り幹事を選出する。

<退任者>

専攻	氏名	新・現区分
京都学	小野 瞳	現
国際コミュニケーション	中澤 陽一	現

<幹事 57名>

専攻	氏名	新・現区分
哲学	加國 尚志	現
教育人間学	永井 奈穂子	現
教育人間学	越 拓野	現
教育人間学	名和 拓哉	現
教育人間学	垂井 建太	現
日本文学	前田 七郎	現
日本文学	二澤 宏生	現
日本文学	小原 亨	現
日本文学	野村 倫子	現
日本文学	瀧本 和成	現
日本文学	福島 悠子	現
日本文化情報学	岡 茉友	現
日本文化情報学	向井 惇子	現

専攻	氏名	新・現区分
日本文化情報学	湯浅 文香	現
日本史学	佐々木 智海	現
日本史学	高橋 知秀	現
日本史学	西澤 良子	現
考古学・文化遺産	山本 雅和	現
中国文学・思想	神原 圭治	現
中国文学・思想	小林 完男	現
中国文学・思想	石見 憲治	現
中国文学・思想	澁澤 尚	現
中国文学・思想	丹羽 雄大	現
中国文学・思想	西村 裕太	現
東洋史学	上妻 亨	現
東洋史学	松本 保宣	現
東洋史学	細井 和彦	現
東洋史学	杉本 史子	現
東洋史学	伏見 樹	現
現代東アジア言語・文化	遠藤 里紗	現
英米文学	藤谷 昭子	現
英米文学	石原 浩澄	現
英米文学	佐藤 涉	現
英米文学	中嶋 信裕	現
英米文学	岸本 由加里	現
英米文学	野々村 英恵	現
英米文学	中村 仁美	現
西洋史学	東上 史	現
西洋史学	高橋 秀寿	現
西洋史学	川元 理美	現
西洋史学	中山 博文	現
文化芸術	小中 菜摘美	現
地理学	麻田 民男	現
地理学	辰己 勝	現
地理学	須原 洋次	現
地理学	乾 昌弘	現
地理学	村上 富美	現
地域観光学	田中 達己	現
地域観光学	山下 誠太	現
京都学	垂井 謙太	現
京都学	岡谷 藍	現
京都学	須田 あさひ	現

専攻	氏名	新・現区分
言語コミュニケーション	松井 美樹	現
言語コミュニケーション	武田 実果	現
国際コミュニケーション	堀 聖矢	現
心理学	中鹿 直樹	現
心理学	米山 直樹	現

「立命館大学文学部校友会規約」

(名称)

第1条 本会は、立命館大学文学部校友会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、その事務所を立命館大学文学部事務室に置く。

(目的)

第3条 本会は、会員相互、会員と在学生、および学部・研究科構成員相互の親睦・交流を図るとともに、立命館大学校友会、専攻同窓会組織の活動と連携しつつ、母校ならびに文学部・文学研究科の発展に寄与することを目的とする。また、人文学に関する諸活動を通じ、会員・文学部・文学研究科と社会とのネットワークを構築し、人文学の十全なる社会的貢献を支援することとする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の交流・親睦をはかるための講演会、講座、その他の文化的活動と親睦会の開催。
- (2) 会員相互、母校ならびに文学部・文学研究科との連絡および広報活動。
- (3) 各専攻・プログラムの親睦会の開催および諸活動への援助。
- (4) 就職活動支援など、在学生への支援ならびに交流事業。
- (5) その他、本会の目的を達成するために必要な事業で、幹事会が適当と認めた事業。

(会員)

第5条 本会の会員は一般会員と賛助会員とし、会費を納入した者とする。

2 一般会員は、次の各号のいずれかを満たすものとする

- (1) 立命館大学文学部の卒業者ならびに同大学大学院文学研究科(各課程)の修了者または単位取得退学者。ただし、学部ならびに研究科の中途退学者であっても、会員の推薦があり幹事会の承認を得た者は、会員となることができる。
- (2) 立命館大学専門学部文学科または立命館大学法文学部文学科を卒業した者。
- (3) 立命館大学文学部または大学院文学研究科に所属する教職員または教職員であった者。
- (4) その他、幹事会が一般会員資格を授与することが適当であると認めた者。

3 賛助会員は、本会の目的に賛同し、幹事会の承認を得た者とする。

4 会員が本会の目的を妨げる行為を行った場合、常任幹事会の承認のうえ、会長はこれを除名することができる。

(役員)

第6条 本会は次の役員を置く

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 常任幹事 若干名
- (4) 幹事 卒業または修了年次ごとに、各専攻・プログラム、各専修から1名を原則とする
- (5) 事務幹事 1名
- (6) 会計監査委員 2名
- (7) 顧問 若干名

2 本会は、名誉会長を置くことができる。

(役員を選出および任期)

第7条 会長、幹事および会計監査委員は、総会において選出し、任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。なお、会長は会員より選出する。

- (1) 会長は顧問の意見も徴して、常任幹事会が候補者を推薦することができる。
- (2) 幹事は会員の推薦により、常任幹事会が候補者を推薦することができる。
- (3) 会計監査委員は、常任幹事会が候補者を推薦することができる。

- 2 副会長および常任幹事は、幹事会において幹事の互選により選出し、任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 3 事務幹事は、文学部事務長とする。
- 4 顧問は、文学部長とする。
- 5 前号にかかわらず、幹事会が特に必要と認めたものを顧問とすることができる。この顧問の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員 の 職務)

第8条 役員 の 職務 は 次 の と お り と す る。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に故障あるときは、その職務を代行する。
- (3) 常任幹事は、会長、副会長を補佐し、会務の企画、会務の執行を行う。
- (4) 幹事は、会務の企画等を審議、執行する。
- (5) 事務幹事は、会務の執行を補佐する。
- (6) 会計監査委員は、本会の会計を監査し、その適否を総会に報告する。
- (7) 顧問は、本会の活動に関し随時助言を行い、その活動を援助する。

(総会)

第9条 総会 は、2年に1回開催することを原則とする。

- (1) 総会の開催は、幹事会が決定する。
- (2) 総会は、事業方針の承認、計算書類の承認、その他重要事項を決定する。
- (3) 総会を開催しない年度の事業方針、予決算、その他重要事項の決定については、常任幹事会がこれを行い、次年度の総会において報告する。

(幹事会)

第10条 幹事会 は、幹事および事務幹事をもって構成し、会長がこれを招集する。

- (1) 幹事会は、本会の業務執行を決定する。

(常任幹事会)

第11条 常任幹事会 は、会長、副会長、常任幹事、事務幹事をもって構成し、会長がこれを招集する。

- 2 常任幹事会は、幹事会に提案する事項の審議、幹事会の決定にもとづく会務の執行をする。
- 3 常任幹事会は、本会の事業運営にともなう取引について責任を持ち、適正にこれを執行する。

(会計)

第12条 本会の収入は、会費、寄付金、その他の収入からなるものとする。

2 本会の会費は次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 一般会員 終身会費 1万円
- (2) 賛助会員 幹事会の決定する額

3 本会の会計年度は、毎年6月1日より翌年5月末日までとする。

(事務局)

第13条 本会の事業運営を円滑に遂行するため、事務幹事は会長の承認を得て、若干名の事務局員を雇用することができるものとする。

2 本会の事業運営支援のため、事務幹事は会長の承認を得て文学部校友会事務局運営委員会をおくことができる。

3 文学部校友会事務局運営委員会は文学部の教員から選出された委員で構成され、事務幹事がこれを召集する。

(規約の改廃)

第14条 この規約の改廃は、幹事会の議をへて総会において行う。

附則

本規約は、2007年4月1日より施行する。

附則（文学部校友会事務局運営委員会設置にともなう一部改正）
本規約は 2009 年 11 月 29 日より施行する。

附則（文学部校友会役員を選出方法の明確化にともなう一部改正）
本規約は、2011 年 11 月 27 日より施行する。

附則（総会不開催年度の事業運営方針決定方法の明確化および公正かつ適正な事業運営の執行に関する文言を追加したことにともなう一部改正）
本規約は、2013 年 11 月 24 日より施行する。

立命館大学文学部校友会事務取扱内規

(趣旨)

第1条 この内規は、文学部校友会における事務取扱について必要な事項を定める。

(謝礼等)

第2条 文学部校友会が主催する講演会等に係る謝礼等は、以下の通りとする。

- (1) 講演者への謝礼は、立命館大学人件費・物件費学内諸単価に準じ、別表1の通りとする。
- (2) 交通費については、往復交通費の実費支給とする。
- (3) 宿泊費が必要な場合は、宿泊費の実費支給とする。ただし、立命館旅費支給規程(別表5 等級Ⅱ)に準じ、1泊につき12,000円を上限とする。
- (4) 学外から招聘する講演者の場合、常任幹事会の承認を得て、上記、(1)から(3)以外の金額を定めることができる。

(同窓会活動補助費)

第3条 文学部校友会会員が企画する専攻・プログラム同窓会、クラス・ゼミ等の同窓会の活動についての補助は、以下のとおりとする。

- (1) 専攻・プログラム同窓会活動とは、複数年度の文学部校友会会員が3名以上参加するものをいう。クラス・ゼミ等の同窓会活動とは、文学部校友会会員が3名以上参加するものをいう。なお、クラス・ゼミ等に該当するのは正課の小集団科目に関する同窓会を基本とし、正課外の同窓会においては常任幹事会が承認した同窓会も対象とする。
- (2) 同窓会の活動には、同窓会開催に関する経費、記念誌印刷および同窓会HP作成に関する活動を含む。
- (3) 専攻・プログラムの場合は、1同窓会あたり年間10万円を上限とし、クラス・ゼミ等の場合は、年間1万円を上限として、実費補助する。ただし、常任幹事会において必要があると判断された場合には、校友会運営委員会の議を経て増額することができる。
- (4) この活動費の申請は、補助費を受ける同窓会の主催者が別途定める申請書を作成し、文学部校友会事務局に提出し、事務局において別表2にもとづき資格審査を確認のうえ、補助を行う。

(改廃)

第4条 この内規の改廃は、常任幹事会の議をへて幹事会において行う。なお直近の総会において報告する。

附則

この内規は、2010年4月3日から施行し、2009年11月29日から適用する。

附則（同窓会活動補助費の執行基準を定めたことにもなう改正）

この内規は、2013年11月24日から施行し、2012年11月11日から適用する。

附則（講演者への謝礼基準および同窓会活動補助費の執行基準の改訂に伴う改正）

この内規は、2019年10月5日から施行する。

別表1

区分	単価（円）
講師謝礼等	
学外ポスドク、本学教職員	10,000
他大学教員、企業の役職者等	30,000
他大学学長・副学長・学部長、企業の役員等	50,000
関連分野において特に著名な有識者、企業の代表者等	100,000

別表2

申請団体	補助の根拠	補助金額
専攻・プログラム 同窓会	規約 規約のない場合は専攻主任または 文学部執行部の確認	実費支給上限 100,000 円
クラス・ゼミ	担当教員の確認印。 確認が取れない場合は専攻主任ま たは文学部執行部の確認	実費支給上限 10,000 円